

ささぶね



学校に命を吹き込む子どもたち

校長 治田 直美

長い夏休みが終わり、元気な子どもたちが学校に戻ってきました。夏休み中、わくわくプラザに来ていたある児童が、誰もいない明かりの消えた校舎を見上げて、「学校が死んでるみたい」と話していたと耳にしました。しんと静まり返った学校は、確かにそのように感じられたのでしょうか。校舎に元気な声が響き渡ってこそ、学校は温かく息づき、生き生きとした場所になるのだと実感します。

ご家庭や地域で見守られながら過ごした夏休み。大きな怪我や事故の報告もなく、無事に再会できたことを本当にうれしく思います。8月24日の登校初日、防災頭巾や作品などの大きな荷物を抱えながら、一生懸命学校を目指して歩いてくる姿が、とても頼もしく見えました。一人ひとりが様々な体験を通して、心も体も逞しくなったことが見て取れました。日頃より温かく支えてくださる保護者・地域の皆様に、心より感謝申し上げます。

一方で、久しぶりの学校に少し緊張したり、不安や悩みを感じたり、また生活リズムが整わなかったりするお子さんもいるかと思います。焦らず自分のペースを取り戻せるよう、教職員一同、保護者の皆様と共に見守り、支えて参ります。気になる変化やご心配な点がありましたら、いつでも学校へご相談ください。

さて、9月1日は「防災の日」です。この夏の、大きな地震や局地的な大雨などの被害も記憶に新しいところです。想定を上回るような自然災害に対する備えが、より重要になっていると言えます。大切な命を守るため、ご家庭でもこの機会に、避難場所や連絡方法について、より具体的に話し合ってみてください。学校でも子どもたちの安全を最優先に、万全の体制で防災教育や避難訓練に取り組んでまいります。

まだまだ暑い中ですが、先週の6年生の修学旅行を皮切りに、各学年の様々な学習や行事が着々と進み、前期のまとめの時期に入ります。子どもたちの心と体に寄り添いながら、笑顔のあふれる実り多き学びの月となるよう、教職員一丸となって温かく励ましてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

【お知らせ】

川崎市立学校におきましては、教職員の私的端末(スマートフォン、携帯電話)の校務での使用は禁止となっています。教職員が校内及び校外学習等で撮影を行う場合は、学校で許可した機器を使用しています(機器には「京町小」と「申請許可機器」の札をつけています)。また、校内で撮影する教職員は「撮影許可証」の札を身につけています。

例外として、校外学習においては、校務用携帯電話の台数が少ないため、職員同士の連絡用として職員個人の携帯電話やスマートフォンを使用することがあります。個人の携帯電話やスマートフォンで、児童の活動の様子を撮影したり、保護者に連絡を入れたりすることはありません。